

景気回復の特効薬は

① 賃上げ 1万6千円

(在阪大企業の)内部留保の1.4%で

最低賃金の

どこでも誰でも時間給1000円以上に

引き上げ

エベッサンの
の
サイクル

処方箋
景気回復
に効きます

ベースアップで
やる気、景気、
暮らしをUP

② 内需拡大

「デフレ不況脱却には賃金引き上げが必要」。このことは政府や財界も認めるところです。

大企業がため込んでいる272兆円にも上る内部留保の一部を活用して、労働者の賃上げや非正規労働者の正規化など社会的に還元をおこなえば、労働者の懐が温まり、購買意欲が高まります。また、政府も最低賃金の引き上げ、働くルールの確立など政治の力を発揮すべきです。

内部留保の社会的還元方法

10年間で増大した内部留保



- 賃金引き上げ
賃上げ要求の確立 団体交渉
- 最低賃金の引き上げ
時給1,000円以上に
- 下請単価の引き上げ
中小・下請けの公正取引
- 税制改革
不公平税制の是正、富裕税・金融取引税の新設
- 雇用の増加による還元
新規採用の拡大、非正規雇用を正規へ
- 働くルール確立による還元
不払い労働根絶、年休の完全取得、週休2日制完全実施
- 労働時間の短縮による還元

③

経済活性化

地域経済と雇用を守ろう!

デフレ不況を克服するには、個人消費を拡大して、国内でお金を回すことが必要です。日本の企業の99%、労働者の7割近くが働く中小企業を元気にして、地域経済を活性化させることが求められています。